身寄りのない93歳、身元保証人決め、見事な最期

あとで読む

【尊厳ある介護（82）】リビングウィルで尊厳死を選ぶことも

公開日： 2019/09/03 (ソサエティ)

里村　佳子 (社会福祉法人呉ハレルヤ会呉ベタニアホーム統括施設長)

cc0（イメージ写真）

「みごとな生き方でした」と身元保証人の新田奈津さん(仮名70歳)は、静かに言われました。小田原佐助さん(仮名93.歳)の葬儀の日のことです。

今から7年ほど前、新田さんは小田原さんを連れて施設入所の申し込みにいらっしゃいました。

「入所するには身元保証人が必要です」とお話しすると、「この人には親戚がいないので、私が身元保証人になります」と新田さん。

「身元保証人は親族の人をお願いしているのですが」と説明すると、小田原さんは任意後見契約公正証書と尊厳死宣言公正証書を差し出されました。

任意後見契約公正証書とは将来判断能力などが不十分な状態になった場合に備えて、あらかじめ自らが選んだ代理人に、自分の生活、療養看護や財産管理に関する事務について代理権を与える契約で、公証人の作成する公正証書により締結します。

尊厳死宣言公正証書とは、自らの考えで尊厳死(治療による回復を全く見込むことができず、死への進行が止められない時、過剰な医療をさけ人として尊厳を持って迎える自然な死)を宣言し、公証人がこれを立ち会って聴取してその結果を公正証書にするものです。

小田原さんは兄弟がおらず独身でした。両親も親戚もとうの昔に亡くなり天涯孤独だそうです。

なので、誰にも迷惑をかけないようこのような公正証書を作成されたのです。

小田原さんと新田さんのお父さんは家族ぐるみの長い付き合いだったので、新田さんはそんな小田原さんをほっておけず身元保証人になられたそうです。

本来であれば親族の身元保証人がいない小田原さんは、入所が難しいのですが、任意後見人がいるということなので可能になりました。

入所してからの小田原さんは自分のペースを崩さず、さりとて周りの人にも気遣って順風満帆でした。

特に行事はお好きでクリスマス会、敬老会、納涼会、外食ツアーなどに積極的に参加して、入居者やスタッフとの親交を深めていました。

ところが、体調を崩して入院した頃から物忘れが増え認知症を発症しました。

記憶障害があって生活全般に介助が必要になられたのですが、本人はそれほど不安を感じている様子はありません。

もともとくよくよしない性格なのか、頼る身内がいないので覚悟を決めているのか、それとも私たちを信頼してくれていたからなのでしょうか。

それで、認知症になったからといって大きく生活に支障は出ませんでした。

しかし、高齢ということもありだんだん食事の量が減り、うとうとしている時間が多くなりました。

医師の診断は老衰で終末期に入っているとのことでした。

そこで、新田さんと後見人さんをお呼びして、看護師とともに最期をどのように迎えるかについての話し合いの時を持ちました。お2人ともこちらの施設で看取って

欲しいと言われます。

本人の意向は尊厳死宣言公正証書に書いてあります。

私たちは医師・看護師・介護スタッフ・ケアマネジャーなど多職種で連携して看取りの体制を整えました。

そんな話し合いをして間もなくのことでした。居室で苦しむことなく息を引き取られたのです。自分の描いたその通りに逝かれたのです。

ここ最近子供などがいなくて、身元保証人を立てられない高齢者が増えています。一般的に施設や病院に入る場合は身元保証人を求められるのですが。

『尊厳ある介護　「根拠あるケア」が認知症介護を変える』（岩波書店、本体1800円）

だから、せめて自分で意思決定ができる間に任意後見契約を結んだり、尊厳死を望むのであれば、リビングウィル(回復の見込みがないのであれば、人口呼吸器を付けない、胃に穴をあける胃瘻にしないなど延命措置を施さないで、苦痛を取り除く緩和に重点を置いた治療に最善を尽くしてもらいたいなど、どこまで治療してもらうかなどを記録しておくこと)で示しておけば、自分らしく最期まで生きられるのではないのでしょうか。

多くの高齢者の死に接し、人は生きたように死んでいくのだとつくづく思うのです。

(注)個人が特定されないよう倫理的配慮をしています。

【読者プレゼント】『尊厳ある介護』はこの連載に加筆してまとめた本です。認知症のご本人、ご家族、介護に携わっている方々に読んでいただきたい本です。

ニュースソクラ編集部より今回も10冊、先着順にてプレゼントさせていただきます。

メール（宛先Info@socra.net）にてタイトル欄に『尊厳ある介護』を希望しますと記し、住所・郵便番号・電話番号と氏名を記して送信してください。ソクラのサイトの問い合わせ欄から書き込んでいただいてもメールが編集部に送られます。

続報リクエスト マイリストに追加

以下の記事がお勧めです

> 里村　佳子のバックナンバー

> 英議会制民主主義を踏みにじったジョンソン首相

> 日銀は一か八かのマイナス金利深掘りか

> 無人AIレジで躍進　「当社はアップル。アマゾンとは違う」

> ヒトラーもどきの政治家が跋扈する現代

プロフィール 最近の投稿

里村　佳子（社会福祉法人呉ハレルヤ会呉ベタニアホーム統括施設長）

法政大学大学院イノベーションマネジメント（MBA）卒業、広島国際大学臨床教授、前法政大学大学院客員教授、広島県認知症介護指導者、広島県精神医療審査会委員、呉市介護認定審査会委員。ケアハウス、デイサービス、サービス付高齢者住宅、小規模多機能ホーム、グループホーム、居宅介護事業所などの複数施設の担当理事。2017年10月に東京都杉並区の荻窪で訪問看護ステーション「ユアネーム」を開設。

いいね！ 0 シェア 0 ツイート LINEで送る

この記事を編集

ソクラとは
編集長プロフィール
利用案内
著作権について
メーキングソクラ
お知らせ一覧
FAQ
利用規約
プライバシーポリシー
特定商取引法に基づく表示
お問い合わせ
コラムニストプロフィール

Copyright © News Socra, Ltd. All rights reserved